

施策評価調書(1)

評価対象年度 29年度

めざす姿	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出
施策関係課	(建設部)建設管理課/(都市計画部)みどり課・公園課・赤山歴史自然公園整備室

●施策の基本方針(目標)

本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出します。

●目標指標								
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(平成32年度)		現状値	44.8(平成27年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	46.7	47.9					
指標②	名称	親水護岸の整備延長			単位	m	指標の種別	活動
	目標値	3,240(平成32年度)		現状値	1,830(平成26年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	1,930	2,085					
指標③	名称	保全すべき緑地の確保			単位	m ²	指標の種別	結果
	目標値	200,000(平成32年度)		現状値	196,473.51(平成26年度)		達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値	187,253.82	181,884.82					
指標④	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							
指標⑤	名称				単位		指標の種別	
	目標値			現状値			達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)		
	実績値							

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

	(単位:千円)	28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額	31年度計画額	32年度計画額
事業額	事業費	1,897,726	2,683,005	2,056,768	3,269,585	
	概算人件費	169,670	158,808	162,503	160,528	
	総事業費	2,067,396	2,841,813	2,219,271	3,430,113	

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策① 58	単位施策② 52	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
B			55.0		

施策評価調書(2)

評価対象年度 29年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 水辺環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	29年度	30年度
			事業費 (決算額)	事業費 (決算額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	総評価	実施
41100101	芝川緑化期成同盟会 補助金	建設部 建設管理課	1,000	1,000	1,000	1,000		58	現状維持 で実施
			7,954	7,566	7,663	7,663			

単位施策名 ② 緑地環境の整備									
事業コード	事業名称	担当課	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	29年度	30年度
			事業費 (決算額)	事業費 (決算額)	事業費 (予算額)	事業費 (計画額)	事業費 (計画額)		
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	総評価	実施
41200102	緑化推進事業	都市計画部 みどり課	19,108	14,177	22,621	22,621		52	現状維持 で実施
			15,580	14,040	14,220	14,220			
41200202	緑地保全事業	都市計画部 みどり課	22,955	21,523	16,862	22,307		52	現状維持 で実施
			24,600	23,400	17,380	17,380			
41200354	荒川運動公園施設運営費	都市計画部 公園課	—	19,802	21,591	21,591		52	効率化して 実施
			—	3,120	3,160	3,160			
41200402	都市公園指定管理者 管理費	都市計画部 公園課	320,520	320,520	320,520	320,520		54	現状維持 で実施
			1,230	1,170	3,160	1,185			
41200304	荒川運動公園整備事業 (平成28年度をもって完了)	都市計画部 公園課	54,708	—	—	—			—
			3,280	—	—	—			
41200502	仮称前野宿川公園整備事業 (平成29年度は休止)	都市計画部 公園課	18,776	—	—	—			
			1,230	—	—	—			
41200732	青木町公園駐車場整備 事業	都市計画部 公園課	—	76,075	—	—		50	完了
			—	2,730	—	—			
41200602	仮称石神西立野第7公園整備事業 (平成28年度をもって完了)	都市計画部 公園課	42,304	—	—	—			—
			2,050	—	—	—			
41200702	仮称戸塚東部第2公園整備事業 (平成28年度をもって完了)	都市計画部 公園課	23,643	—	—	—			—
			1,640	—	—	—			
41200772	仮称前川3丁目第6公園 整備事業	都市計画部 公園課	—	33,966	—	—		53	完了
			—	2,730	—	—			
41200802	歴史自然公園整備事業	都市計画部 <small>赤山歴史自然公園整備室</small>	665,147	1,369,474	873,949	2,089,184		54	現状維持 で実施
			39,536	34,242	46,215	46,215			
41200901	緑の日推進事業	都市計画部 みどり課	1,800	1,500	1,500	1,500		50	現状維持 で実施
			1,640	2,340	2,370	2,370			
41200951	第2次緑の基本計画 策定事業	都市計画部 みどり課	—	8,003	7,863	—		48	現状維持 で実施
			—	0	0	—			
41201001	都市公園等施設 維持管理事業	都市計画部 公園課	467,572	549,678	507,337	507,337		55	現状維持 で実施
			50,840	48,360	48,980	48,980			
41201101	街路緑地帯維持管理事業	都市計画部 公園課	256,467	259,792	276,974	276,974		55	現状維持 で実施
			17,630	16,770	16,985	16,985			
41201201	公園施設長寿命化計画 策定事業	都市計画部 公園課	3,726	7,495	6,551	6,551		49	現状維持 で実施
			2,460	2,340	2,370	2,370			

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	41100101	事業名称	芝川緑化期成同盟会補助金			事業区分	通常事業
担当	建設部	建設管理課	問い合わせ先	#33-5214	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 52 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ① 水辺環境の整備
根拠法令等	芝川緑化期成同盟会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	芝川緑化期成同盟会	旧芝川周辺を利用する市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	行政による河川環境整備に加え、地域住民の理解と協力を得ながら旧芝川の緑化整備を促進し、もって川口市の都市環境改善に寄与することを目的とする。	河川清掃、緑化事業及び県への要望活動等に対して経費の一部を補助する。	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・河川敷清掃 ・要望活動 ・植栽	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	旧芝川の緑化整備が促進されたことや県の整備事業等の進捗により、都市環境の改善に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	芝川河川敷に植栽した株数			指標・目標値の説明(算定式)	毎年度樹木等の価格変動を反映し設定				
	単位	株	指標の種別	結果						
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況	360		432						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	01項	01目	004細目	01細々目	芝川緑化期成同盟会補助金			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額				1,000		1,000		1,000		1,000
決算額(B)				1,000		1,000				
財源	特定財源			0		0		0		
	一般財源			1,000		1,000		1,000		
概算人件費(C)			7,954		7,566		7,663		7,663	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.97		0.00		0.97		0.00	
総事業費(A又はB+C)			8,954		8,566		8,663		8,663	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	会員及び事業費が年々減少する中、今後同盟会の事業をどのように継続していくかが課題である。 同盟会の今後のあり方について、総会や委員会等での検討を依頼する。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	41200102	事業名称	緑化推進事業	事業区分	主要な事業 政策宣言24
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	5321	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 48 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、川口市緑の基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託							
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)								
	市民、市民ボランティア、事業者	同左								
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)								
	市民、事業者、行政が一体となって緑の創出に取組み、緑豊かな潤いのある美しいまちづくりを進めるため。	<ul style="list-style-type: none"> ・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導 ・公園花壇や街路の花壇スタンドなどのボランティア活動支援 ・フラワーロードのスポンサー企業・団体の募集 ・苗木の配布、生け垣設置・屋上緑化等の補助 								
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績								
	<ul style="list-style-type: none"> ・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導 ・ボランティア活動への草花資材等の支給及び補助金の交付 ・フラワーロード4路線でスポンサー企業・団体募集 ・生け垣設置等補助金の対象に植込地を加え支援を拡充 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フラワーロードでのスポンサー募集事業</td> <td></td> <td>4 路線</td> </tr> <tr> <td>苗木等の配布</td> <td>518</td> <td>本</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	フラワーロードでのスポンサー募集事業		4 路線	苗木等の配布	518
項目	実績	単位								
フラワーロードでのスポンサー募集事業		4 路線								
苗木等の配布	518	本								
事業の成果【定性的評価】	・建築主に緑化指導を行ったことにより緑が創出され、ヒートアイランド現象の緩和に貢献した。・ボランティア活動により緑のまちづくりが推進された。フラワーロードのスポンサー企業・団体からの協賛金をボランティア活動の支援に活用した。									

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ボランティア団体数			指標・目標値の説明(算定式)	公園花壇やフラワーロードなどで草花の植替えや維持管理を行う団体数(基準:95団体)				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	95	達成	88	未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	002細目	01細々目	緑化推進事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		24,293		21,232		22,621		22,621		
決算額(B)		19,108		14,177						
財源	特定財源	9,568		7,297		8,246				
	一般財源	9,540		6,880		14,375				
概算人件費(C)		15,580		14,040		14,220		14,220		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
	総事業費(A又はB+C)		34,688		28,217		36,841		36,841	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 /60	ボランティアの高齢化により、今後、活動の減少、団体数の減少が懸念されるため、新たな担い手を得るための情報収集及び周知を行う。	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	41200202	事業名称	緑地保全事業	事業区分	主要な事業 政策宣言24
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-5721	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 59 年度 ~ 平成 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	ふるさと埼玉緑を守り育てる条例、埼玉県身近な緑公有地化事業実施要綱、川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者。自然再生活動登録団体。	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 近年の都市化の進展に伴い、樹林地をはじめとする身近な緑が失われつつあるなか、市内に残る身近な緑(樹木、樹林地等)を保全し、緑豊かな都市環境の形成及び自然と共生する社会の実現を図ることを目的としている。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) 緑の保全のため、保全緑地等の指定と奨励金や管理経費補助金の支給。公有地においては、樹木の剪定、伐採等を行うと共に、協力団体に管理費用の一部を補助するなどして維持管理を行っている。	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・指定基準の拡大による新たな樹木指定 ・保存樹木等維持管理経費補助制度の周知 ・自然再生活動団体による緑地の適正管理	主な実績 項目 実績 単位	
事業の成果【定性的評価】	保存樹木の新たな指定と管理経費補助の周知による申請件数の増加が図られた		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保存樹木等管理経費補助制度			指標・目標値の説明(算定式)	市条例に基づき指定した保存樹木等の所有者(管理者)からの申請件数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況	10件	10件	10件	10件	10件				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	003細目	01細々目	緑地保全事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		26,936		23,532		16,862		22,307		
決算額(B)		22,955		21,523						
財源	特定財源	2,138		2,502		3,300				
	一般財源	20,817		19,021		13,562				
概算人件費(C)		24,600		23,400		17,380		17,380		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	0.00	3.00	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00
総事業費(A又はB+C)		47,555		44,923		34,242		39,687		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	総合計画に目標として挙げている保全すべき緑地の確保のため新たな緑地等の指定を図っていく。緑地等の保全のため、地域住民と協働して管理等が行える仕組みづくりを検討する。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	41200354	事業名称	荒川運動公園施設運営費		事業区分	主要な事業
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先	#33-5336	新規・継続	政策宣言24・総合戦略D 新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民が安心・安全に利用できる憩いの場として整備する。	施設維持管理業務 ・公園施設修繕・除草・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 施設維持管理業務 ・公園施設修繕・除草・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託	主な実績	
		項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	地域住民が安心・安全に公園を利用することができ、地域のコミュニケーションの向上に寄与することが出来た。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	03細々目	荒川運動公園施設運営費	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		39,178	21,591			21,591
決算額(B)		—		19,802				
財源	特定財源			0	21,591			
	一般財源			19,802	—			
概算人件費(C)				3,120	3,160			3,160
従事職員人数(人)	常勤	再任用		0.40	0.00	0.40	0.00	0.40
総事業費(A又はB+C)				22,922	24,751			24,751

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	昨年度については、8月の平日と11月末の利用者が少なかったため、平成30年度は開催日の見直し等を図り、公園利用者が安全で快適に利用できるよう引き続き事業を継続していく。	30年度 効率化して実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	41200402	事業名称	都市公園指定管理者管理費	事業区分	主要な事業 政策宣言24
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先	#33-5332	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供する。	公園維持管理業務 ・樹木管理 ・清掃 ・簡易な修繕 ・除草 ・遊具点検	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	公園維持管理業務 ・樹木管理 ・清掃 ・簡易な修繕 ・除草 ・遊具点検	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	02細々目	都市公園指定管理者管理費	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		320,520	320,520	320,520	320,520			
決算額(B)		320,520	320,520					
財源	特定財源		0	0	0			
	一般財源		320,520	320,520	320,520			
概算人件費(C)			1,230	1,170	3,160		1,185	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費(A又はB+C)			321,750	321,690	323,680		321,705	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	公園利用者の安全性と快適な利用環境を確保するため引き続き事業を継続する必要がある。	30年度 現状維持で実施 31年度 効率化して実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	41200732	事業名称	青木町公園駐車場整備事業	事業区分	主要な事業 政策宣言24
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先	242-6336	新規・継続
					新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” - 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 - ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例、駐車場法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	公園利用者。	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	駐車場の不足に伴い、噴水広場周辺に駐車されている車を、旧児童文化センター跡地に駐車場を整備することにより解消し、本来の噴水広場に戻すため。	駐車場の整備。		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
		新規駐車場整備。		
		項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	駐車場を整備したことにより、噴水広場周辺の目的外利用の駐車がなくなり、本来の目的を取り戻せた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	05目	001細目	01細々目	青木町公園駐車場整備事業
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—	78,455	—	—		
決算額(B)		—	76,075				
財源	特定財源	—	0	—	—		
	一般財源	—	76,075	—	—		
概算人件費(C)		—	2,730	—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	0.35	0.00	—	—
総事業費(A又はB+C)		—	78,805	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性
50 /60	平成29年度をもって、事業完了。	30年度 完了 31年度 — 32年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	41200772	事業名称	仮称前川3丁目第6公園整備事業	事業区分	主要な事業 政策宣言24
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先 242-6336	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 29 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” - 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 - ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	公園利用者。	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	市民が安心・安全に利用できる憩いの場として整備する。	公園整備。			
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
		新規公園整備。	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	地域住民が安心・安全に公園を利用することができ、地域のコミュニケーションの向上に寄与することが出来た。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	05目	003細目	01細々目	仮称前川3丁目第6公園整備事業
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—	51,387	—	—		
決算額(B)		—	33,966				
財源	特定財源	—	30,443	—	—		
	一般財源	—	3,523	—	—		
概算人件費(C)		—	2,730	—	—		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.35	0.00	—
総事業費(A又はB+C)		—	36,696	—	—		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方向性
53 /60	平成29年度をもって、事業完了。	30年度 完了 31年度 — 32年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	41200802	事業名称	歴史自然公園整備事業	事業区分	主要な事業 政策宣言23
担当	都市計画部	赤山歴史自然公園整備室	問い合わせ先	#33-5341	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 33 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	国の法令:都市計画法、都市公園法、景観法 等 条例:川口市都市公園条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等(地域住民、公園・ハイウェイオアシス利用者)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	豊かな自然環境や歴史・文化遺産を活用し、さらに、広域的な利用集客を促進するため首都高速線との事業連携によりハイウェイオアシス化を図ることで、地域の振興と農業の活性化にも資する公園を整備し、人と人とが交流するにぎわいあるまちづくりを進める。	・赤山歴史自然公園の整備	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	<ul style="list-style-type: none"> 歴史自然資料館建設工事 2ヶ年継続工事の2年目(29年度完了) 地域物産館建設工事 2ヶ年継続工事の2年目(29年度完了) 園路、植栽、電気、排水工事等(29年度予定箇所完了) 	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	事業の進捗率について、平成29年度の目標は93.84%であったのに対し、実績は66.38%。その要因は、ハイウェイオアシスの整備が予定より遅れているため。本年度予定していた実施内容は完了し、平成30年4月に公園の一部を供用開始できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業の進捗率		指標・目標値の説明(算定式)	当初実施設計時に積算した全体事業費(約120億円)に対し、各年度の予算額の累計を目標値、既支出額と支出予定額の総合計に対し、各年度の決算額の累計を実績値として算定				
	単位	%	指標の種別		活動	28年度	29年度	30年度	31年度
	目標値				90.78	93.84	95.68	96.57	97.50
	実績値・達成状況	55.04	未達成	66.38	未達成				
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			28年度	29年度	30年度	31年度
	目標値								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	06目	002細目	01細々目	歴史自然公園整備事業		
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		1,323,295		1,673,156		873,949		2,089,184	
決算額(B)		665,147		1,369,474					
財源	特定財源	474,476		899,234		370,504			
	一般財源	190,671		470,240		503,445			
概算人件費(C)		39,536		34,242		46,215		46,215	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	4.58	0.60	4.39	0.00	5.85	0.00
総事業費(A又はB+C)		704,683		1,403,716		920,164		2,135,399	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	隣接し整備を進める火葬施設の平成30年4月の開設にあわせ、できるだけ広い範囲の供用開始に向け、工事工程や開設に向けた準備等を詳細に検討し、事業を進めてきた。今後は、平成32年度にハイウェイオアシス、平成34年度に公園全体の開設を目指し、事業を進める。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	41200901	事業名称	緑の日推進事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-5721	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 63 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、緑の日推進事業交付金要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口グリーンフェスティバル実行委員会	川口グリーンフェスティバルの来場者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	10月第2日曜日の「緑の日」を記念し、緑の日推進事業をグリーンセンターで川口グリーンフェスティバルと同時開催する。緑豊かな都市環境づくりの推進のため、市民の緑化に対する意識の高揚と知識の普及を図ることにより、潤いと安らぎのある快適な生活環境を形成する。	川口グリーンフェスティバルにおいて実施する緑の日推進事業に必要な経費を補助金として交付し、民有地の緑化推進事業や緑化意識の啓発事業、知識の普及事業を実施する。	
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・樹木医体験講習会 ・ツリーライミング ・家庭緑化普及のための苗木等の配布 等	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	新たな企画によって、多くの来場者が興味を示しイベントに参加していただいた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	004細目	01細々目	緑の日推進事業
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			1,800	1,500	1,500		1,500
決算額(B)			1,800	1,500			
財源	特定財源		1,800	1,500	1,500		
	一般財源		0	0	-		
概算人件費(C)			1,640	2,340	2,370		2,370
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.30	0.00	0.30
総事業費(A又はB+C)			3,440	3,840	3,870		3,870

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	新たに企画したイベントを広報により周知を行い、多くの来園者に興味を持ってもらうことができ、予想以上の参加者であった。	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	41200951	事業名称	第2次緑の基本計画策定事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	みどり課	問い合わせ先	242-5721	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	都市緑地法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 「川口市緑の基本計画(改訂版)」の策定後10年が経過し、緑をとりまく環境や社会情勢が大きく変化し、また、まちづくりの新たな方針も示された。そのため、緑の現状・課題を整理し、緑をとりまく環境等の変化に対応し、長期的な視点に立った実現可能な緑の基本計画を新たに策定するため。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 第2次緑の基本計画を策定する	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 庁内調整会議や緑化対策委員会に諮り現況調査、市民意向調査等の実施と将来像、将来目標について設定を行った。	主な実績 項目 実績 単位	
事業の成果 【定性的評価】	第2次緑の基本計画の基本方針まで作成が完了した		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	29、30年の2か年で計画を作成していることから目標値の設定は行わない				
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	07目	006細目	01細々目	第2次緑の基本計画策定事業		
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度				
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		—		8,630	7,863				
決算額(B)		—		8,003					
財源	特定財源			0	0				
	一般財源			8,003	7,863				
概算人件費(C)				—	—				
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費(A又はB+C)				—		8,003	7,863		—

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 /60	緑地等の整備方針や実現化方策の検討、パブリックコメントの実施等を行い、実効性の高い計画策定を行っていく	30年度 現状維持で実施 31年度 完了 32年度 —

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	41201001	事業名称	都市公園等施設維持管理事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先	242-6338	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” - 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 - ② 緑地環境の整備
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	都市公園の良好な環境を保ち、市民に憩いや地域コミュニケーションの場を提供する	施設維持管理業務 ・樹木管理 ・遊器具保守点検 ・公園維持工事 ・公園施設修繕 ・除草	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	施設維持管理業務 ・樹木管理 ・遊器具保守点検 ・公園維持工事 ・公園施設修繕 ・除草	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	都市公園の良好な環境を保ち、市民に憩いや地域コミュニケーションの場を提供できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	002細目	01細々目	都市公園等施設維持管理事業	
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		519,737		588,749		507,337		507,337
決算額(B)		467,572		549,678				
財源	特定財源	0		30,000		50,430		
	一般財源	467,572		519,678		456,907		
概算人件費(C)		50,840		48,360		48,980		48,980
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20	0.00
総事業費(A又はB+C)		518,412		598,038		556,317		556,317

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
55 /60	公園利用者が安全で快適に利用できるような引き続き事業を継続していく	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 29年度

事業コード	41201101	事業名称	街路緑地帯維持管理事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先	242-6338	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” - 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 - ② 緑地環境の整備
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	道路利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	良好で安全な道路景観を創出する	街路緑地帯管理業務 ・樹木管理 ・除草 ・花壇植栽管理 ・街路緑地帯維持工事	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	街路緑地帯管理業務 ・樹木管理 ・除草 ・花壇植栽管理 ・街路緑地帯維持工事	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	道路利用者に対して道路環境の提供と潤いのある緑豊かな道路空間の提供が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	003細目	01細々目	街路緑地帯維持管理事業	
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		264,599	263,607	276,974	276,974			
決算額(B)		256,467	259,792					
財源	特定財源	0	0	0				
	一般財源	256,467	259,792	276,974				
概算人件費(C)		17,630	16,770	16,985	16,985			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.15	0.00	2.15	0.00	2.15	0.00
総事業費(A又はB+C)		274,097	276,562	293,959	293,959			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
55 /60	引き続き道路利用者にとって安全で快適に利用できる環境を維持するため、継続していく必要がある	30年度 現状維持で実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	41201201	事業名称	公園施設長寿命化計画策定事業	事業区分	通常事業
担当	都市計画部	公園課	問い合わせ先	242-6338	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち” — 1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出 — ② 緑地環境の整備
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	平成25年度に策定した対象20公園の川口市公園施設長寿命化計画に順次追加(79公園)して公園施設、主に遊戯施設の計画的な更新を行い公園利用者の安全・安心の確保を行う	追加予定の79公園施設のうち、建物または工作物を対象として、公園施設の点検。調査に基づき、次の事項等を定める ・都市公園整備状況 ・対象都市公園 ・健全度調査結果、長寿命化の具体的対策 ・計画全体の実施効果など	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	9公園の計画策定を行った	項目	実績 単位
事業の成果 【定性的評価】	当計画に基づき適正に維持管理されている公園施設の改築について、社会資本整備総合交付金交付要綱による公園施設長寿命化対策支援事業の対象事業として交付金を受けることができた		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	04目	004細目	01細々目	公園施設長寿命化計画策定事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額			11,934		11,811		6,551		6,551	
決算額(B)			3,726		7,495					
財源	特定財源		0		5,500		3,000			
	一般財源		3,726		1,995		3,551			
概算人件費(C)			2,460		2,340		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費(A又はB+C)			6,186		9,835		8,921		8,921	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	受益者なし	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
49 /60	今後は、計画対象公園以外の約350の公園・緑地についても同計画を策定し、予防保全管理の実施によるストックの有効活用と公園利用者の安全・安心の確保を行う必要がある	30年度	現状維持で実施
		31年度	現状維持で実施
		32年度	現状維持で実施